

## 第3章 取引

- **取引要素**: 資産、負債、純資産(資本)
- **取引**: 取引要素が増減するもの
- ただし、金銭的・貨幣的に計れるものに限る。
  
- **取引の記録**: 複式簿記に基づく。
- **複式簿記**: 原因と結果を説明する。
- **仕訳**: 取引の結果を記録

## 取引の種類

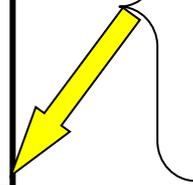
～このようなものがあるか、程度で～

貸借対照表(試算表)

資産	負債
	資本
	-資本金
	-利益剰余金
	-当期純利益 300

損益計算書

売上	1,000
仕入	(500)
営業費用	(100)
Xxx	(20)
当期純利益	300



1. 交換取引:収益・費用は発生しない。  
例) 銀行から借り入れをする(借金が増え、現金が増える)。
2. 損益取引:収益・費用が発生する。  
例) 商品を販売する(売上が増え、現金が増える)。
3. 混合取引:交換取引と損益取引が同時に発生する。  
例) 銀行から借り入れを返済し、同時に利息を払う(借金が減り、現金が増え、利息費用が増える)。
4. 取引8要素と結合関係  
分りづらいので、とりあえず一つの取引には複数の要素が関係する、と考えておく。